

上野市大野木地区西の井池堤防の崩壊について

上野観測所

1950年4月26日16時05分の地震（上野地方震度III）により標題の地に堤防崩壊があつた。

第1図に示す如く西の井池は上野市南西方約2kmの大野木地区にあり、相隣り階段的に高くなつている四つの池の中の一つでかんがい用ため池として重要なものである。

この堤防は古い堤防の上にさらに高くきずかれたもので、昭和23年10月の完成である。当日現場にいた百姓の話によると地震だと感じあわて、逃げて間もなくドドーと言う大きな音がしたので、ふりかえつてみるとすでに崩れており、この間わづか数秒であつたと語つてゐる。これよりみるにすでに主動において崩れ落ちたものである。その後急報によりはせつけた消防団、村員に依り堤防東端に幅約1米のみぞを掘り池の水を水位にして1米放水しことなきを得たとのことである。現場

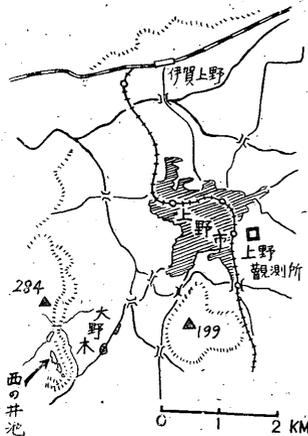


Fig. 1

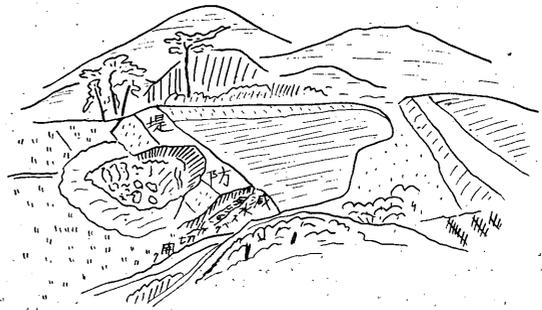


Fig. 2

附近の平面図と寫景図を Fig. 1, 2に示す。この堤防は長さ76m、高さ5m、上面幅3.6m、傾斜角約 42° で、土質は風化した花崗岩に土砂が多少混入しているものである。全般的にもろくて粗く粘着力なく堤防としては不適なように思はれた。崩壊箇所は長さ22m最大幅2.9mで崩壊土砂推定約 680m^3 、下方の田を浚して南斜面に落ち赤茶色の地肌を呈している。調査結果を総合すると崩壊原因として土質が良くない割合に傾斜が急でまた旧堤防との境目に水が浸入しゆるんでいた上満水状態という悪条件が重なつて不安定なところへ堤防に直角と思はれる地震の力が働いたことなどが考へられる。(木戸記)

Collapse of the Bank of Nishinoiike Pool

UENO Observatory

Collapse of the bank of the pool by the shock of the earthquake,
April 26, 1950 was investigated.